

組合だより

【 第355号 令和6年1月 日本羊腸輸入組合 】

松永理事長新年御挨拶

元旦に発生しました能登半島地震でお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げ、被災された方々にお見舞いを申し上げます。

あらためまして、令和6年新春にあたり、日本羊腸輸入組合の関係の皆様へ新年のお祝いを申し上げます。新年明けましておめでとうございます。本年も皆様のご健康とご多幸を心より祈念申し上げます。

昨年春より新型コロナウイルスによる行動制限が解除され、経済活動が戻りつつあります。インバウンド需要などもあり、国内のソーセージ生産量は引き続き堅調であり、消費者の生活に欠かすことのできない商品であることを大変喜ばしく思うと同時に、安心安全な天然腸の輸入の責任を重く受け止める次第です。

他方、世界的な気候変動、紛争、経済動向などによる影響は軽微ではなく、特に原料のすべてを輸入に頼る日本は、急激な円安の影響もあり、さらに厳しいものがあります。世界の天然腸業界として、不安定な価格、コスト高騰により、天然腸市場を取り巻く環境は不安定さを増しています。

引き続き、一大原産国である中国との連携を維持しつつ、同時に特定国からの輸入に偏り過ぎないように輸入可能国の拡大に向けて、関係機関との連携を強化していきたいと考えています。

当組合活動につきまして、昨年10月より賛助会員制度を創設しました。現在、2企業と1団体が賛助会員として参加していただくことになりました。組合活動にご理解いただく幅広い関係者の皆様との意見交換などを通じて、更に前向きに取り組んでまいりたい所存です。

天然腸を使用したソーセージは日本の食文化に欠かすことのできないものです。天然腸貿易には高い専門性が必要とされ、今後も目まぐるしく変化する状況に、世界市場、関係官庁との情報交換が肝要です。当組合が重要な役割を担っていることへのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

日本羊腸輸入組合 理事長 松永大介

理事会等

○12月は、理事会等の開催はありませんでした。

事務局

○組合員関連

- ・天然腸輸入報告統計協力13社に対し、令和5年11月分の結果報告と令和5年12月分の報告依頼を行いました。

○関係省庁関連

- ・経済産業省農水産室を訪問し、賛助会員や組合業務状況の報告、中国加工施設の追加、輸入可能国の拡大についての要望を行いました。
- ・農林水産省動物衛生課及び厚生労働省食品監視安全課を訪問し、組合業務や中国加工施設の追加、輸入可能国の拡大等に関する意見交換を行いました。
- ・動物検疫所を訪問し、天然腸輸入検疫に関する意見交換を行いました。

○その他

- ・INSCA 会費を納付しました。
- ・日本貿易会主催、海外安全対策セミナー「現在の中東情勢と今後の展望」
講師：慶応義塾大学大学院 政策・メディア研究科教授田中 浩一郎氏に参加いたしました。

○12月より賛助会員になりました(一社)食肉科学技術研究所様より、加入のご挨拶をいただきました。

新年明けましておめでとうございます。この度、賛助会員に加えていただきました(一社)食肉科学技術研究所でございます。

組合員の皆さまには、常日頃から輸入羊腸の検査をご依頼いただいていることに心より感謝申し上げます。

食肉科研はご依頼いただく各種試験検査を通じて、皆さまが取り扱われる製品の安全性や品質の高さを科学的・客観的データで確認・証明することにより、皆さまのお仕事のお手伝いをするとともに、食肉加工業界全体の発展に貢献しています。

最近では、組合員の皆さまがご尽力されている食肉製品の「食感」を含め製品のブランド力を高めるための「おいしさ評価」で製品の訴求ポイントのご提案や、保存

試験による賞味期限延長のご提案などに積極的に取り組んでいます。

今回の賛助会員への加入を契機に、食肉製品に関する科学的情報などをご提供しながら組合員の皆さまとの絆を一層深めさせていただき、皆さまに頼られる身近な試験検査機関として皆さまのご要望にお応えしていく所存です。

今後とも、よろしくお願い申し上げます。

統計 *統計の詳細は組合ホームページで御確認下さい。

【財務省貿易統計】

令和5年11月の天然ケーシング輸入量は、次のとおりです。

- ・総輸入量:316.0t (前月比 Δ 56.0t、84.9%/前年同月比 Δ 58.9t、84.3%)
- ・中国原産:211.0t (前月比 Δ 36.1t、85.4%/前年同月比 Δ 68.0t、75.6%)
- ・豪州原産: 27.0t (前月比 +2.4t、109.8%/前年同月比 +4.1t、117.6%)
- ・NZ原産: 66.3t(前月比 Δ 15.5t、81.1%/前年同月比 +14.8t、128.7%)

【ソーセージ生産量(日本ハム・ソーセージ工業協同組合調べ)】

令和5年11月のソーセージ生産量は、次のとおりです。

- ・ソーセージ類合計生産: 26,993.3t (前年同月比 95.8%)
- ・ウィンナーソーセージ: 20,011.5t (前年同月比 95.8%)
- ・フランクフルトソーセージ: 2,678.3t (前年同月比 99.6%)

HP更新内容(統計関係を除く)

*更新内容の詳細は組合ホームページで御確認下さい。

- 年未年始の休業について(事務局からのお知らせ)
- 「令和5年度輸入食品監視指導計画に基づく監視指導結果(中間報告)」について(厚生労働省からの周知依頼)
- 「労務費の適正な転嫁のための価格交渉に関する指針」について(内閣官房・公正取式委員会からの周知依頼)

参考情報・お知らせ

○賀詞交歓会開催

ご案内していました令和6年の賀詞交歓会を1月17日17時半より開催いたします。参加登録いただきました皆様、宜しく申し上げます。ご都合等で参加を見送られた皆様には次の機会にお会いできることを楽しみにしています。

○共通利益増進 WG より

本年2月28日(水)14時から、「令和6年度中小企業関連補助金等の説明会」を初めて開催する予定です。組合員の皆様を対象となります。講師にはご多忙の中に、関東経済産業局中小企業課より担当者をご依頼しています。40分～45分説明、15分程度の質疑を予定しています。また、当日は基本的にwebにての開催になります。新ためて参加者の希望を行いますので奮ってご参加下さい。

○国土交通省から、大雪時の立ち往生防止対策について周知依頼がありました。特に荷主事業者におかれましては、前シーズンに引き続き以下の事項についてご協力をお願いいたします。

- ・大雪などの異常気象による突発的な事象により運送経路の変更や運送の中止などの必要が生じ、その原因となった事象がやむを得ないと認められる場合には、運送経路の変更等を認めること。
- ・大雪などの異常気象により運送に支障を来すことが予め予想される場合には、配送拠点に留置する在庫の積み増しや、予定されていた配送時間の前倒し、運送可能域内での物資の融通を行うことにより、トラック事業者への不要不急の運送依頼を控えていただくこと。

今後の主な予定

—令和6年—

- 1月17日(水) 令和5年度第5回理事会、新年賀詞交歓会
- 2月28日(水) 共通利益増進 WG 主催
「令和6年度中小企業関連補助金等の説明会」開催
- 3月21日(木) 令和5年度第6回理事会
- 4月15日(月) 監事監査

- 4月17日(水) 令和5年度第7回理事会
- 5月29日(水) 第61回通常総会・令和6年度第1回理事会／懇親会

以上